＊関 勝則「時代を映した横浜の歌」探訪。

《22》中村雅敏「恋人も濡れる街角」

1978(昭和53)年、横浜スタジアムが完成。大洋ホエールズが本拠地を川崎球場から移転し、横浜大洋ホエールズが誕生しました。この年デビューしたのが「勝手にシンドバッド」のサザンオールスターズ。今は国民的ロックバンドとなりました。1982(昭和57)年そのサザンオールスターズの桑田佳祐が作詞作曲をした横浜の歌が、俳優で歌手の中村雅俊が歌う「恋人も濡れる街角」です。テレビの歌番組でランキングの1位を争っていたことが縁で、桑田佳祐が書き下ろした曲を提供したというエピソードがあります。当初の曲名は「恋人も濡れる横浜」だったとされていますが、映画『蒲田行進曲』の主題歌として採用され、その際、「恋人も濡れる街角」に変更されたといわれています。

さらに、中村雅俊自身が主演しているテレビドラマ『おまかせください』、『おまかせください、オレの女房どの』の挿入歌として、６年後の『恋人も濡れる街角 URBAN LOVE STORY』のタイトルでテレビドラマが放送されました。

「♪不思議な恋は女の姿をして 今夜あたり 訪れるさ～」、「♪YOKOHAMAじゃ 今乱れた恋が揺れる～」など、恋愛が似合う街「横浜」を象徴するようなフレーズが70年代に生まれたカラオケの定番曲になり、幅広い層に歌われました。

「恋人も濡れる街角」では、「♪ああ 時折雨の降る　馬車道あたりで待っている」というフレーズにより、当時は全国的には知名度が低かった馬車道が一躍注目を浴びました。

開港時、関内地域と横浜港を結ぶ道路の1つとして開通した道に馬車が往来していたことから呼ばれるようになった馬車道はガス灯が日本で最初に設置され、アイスクリームが日本で最初に売られたことでも知られていますが、この曲によって雨が似合う街というイメージが植え付けられたようです。

現在関内ホールはその昔横浜宝塚劇場、また、道路を隔てた場所にはシネコンの草分け的存在の横浜東宝会館が2001(平成13)年の閉館まで市民に愛されていました。

国の重要文化財の神奈川県立歴史博物館(旧横浜正金銀行)は現在も馬車道のランドマークとして存在。横浜高速鉄道みなとみらい線の「馬車道駅」が、2020年5月に新築移転する横浜市庁舎の最寄り駅の一つになるなど、この先馬車道も大きく変貌をしていくことを願っています。

＊オモテ面より続く

「消防局」 予算は413億1700万円。

- ●年間29万件を超える様々な災害通報を確実に受信し、的確に対応する為の消防指令体制の充実強化に努めます。
- ●消防局所有のヘリコプター２機を効果的・効率的に運用し、市内外を問わず消火や救助、救急等に対応します。
- ●平成30年の救急出場件数は前年から約１万件増えて20万3000件超となり８年連続で過去最多を更新。77ある救急隊の適正な維持管理と運用を目指します。
- ●大規模イベントにおいて発生が危惧されるテロ等による特殊災害に対応するために、化学剤検知器などを整備し消防力を強化します。
- ●消防団に対し、出動報酬の支給枠を拡充し器具置き場の建設や積載車等を整備することで、円滑な消防団活動が行える体制づくりを進めます。
- ●各地域での家庭防災員の研修や、各小学校での「お出かけ防災教室」で防火・防災思想の普及啓発を行い、地域防災体制の充実を図ります。
- ●建築物や危険物、火薬類、高圧ガスを取り扱う施設等の安全性を確保し、火災等による被害を軽減するため、計画的な立ち入り検査や関係部局と連携した査察等を行い、違反の未然防止等に取組みます。

――― 市民のみなさんにとって、身近で大切な行政運営 ―――

各局の主な事業についてお伝えしましたが、お読みいただいた通り市民生活に非常に密着した施策を進めているのが市民局、文化観光局、消防局です。

この一年私は、地元自治会等での地域活動で培った経験を参考に、市民目線を大切にして委員会での議論を進めてまいります。みなさんからも日々の生活において何かお気づきの点がありましたら、ご意見ご要望をお寄せください。

紙面の都合により今月号の「市会日記」は休載させていただきます。